

第13回 宮城県東日本大震災アーカイブス連絡会議 10月10日15時～

参加団体：宮城観光復興、閉上の記憶、東松島市、20c アーカイブ、多賀城、  
こころの相談室、メディアテーク、トッパン、事務局

**【告知・報告】**

平成27年1月11日東日本大震災アーカイブシンポジウム

新！災害科学国際研究所 多目的ホール

出店希望のお願い

昨年同様、参加希望団体には、ブース提供(後日詳細周知)

平成27年 3月国連防災会議

会議にむけて、スタディーツアー開催へのご協力(後日団体連絡)。

メディアテークにて、わすれん展示、「記録と想起・イメージの家を歩く」

2014年11月15日～2015年1月12日

東松島市：映像集が近々プレスされます。

閉上の記憶：2万4000人の来場記録！3連休でのイベント開催。

多賀城市：万葉祭開催（10月12日 歴史博物館にて）

20C：「はじまりのごはん」写真展 メディア7階で開催中

議題：メタデータについて

① みちのく震録伝報告（以下みちのくS）

**【メタデータ付与について】**

テキストデータのメタデータ付与

シソーラス辞書を用いて、テキストマイニングを行い、キーワード抽出を行う。

写真・画像データ付与

Googleのpicasaを用いて、テキストマイニングを行う。

**【自動・手動・ソーシャルタグの情報付与方針（基礎タグ）】**

1. 時間用法 自動（シャッタースピードなど EXIF 内から取得）手動で文章などに時間記載があるものを付与

## 2. 空間情報 自動 (GPS、EXIF 内から取得)。文章で、文章などに住所情報を付与

(ソーシャルタグ) の取り入れは難しい (みちのく S は起用なし)

例) 写真への情報付与 (精度をあげる為に検証)

\* 手動による写真のキーワード付与方針

憶測、イメージをはずし、確実キーワードもののみ

\* 塩害などはぶく。その土地が実際、塩害は作業者本人は定かではないので。

\* よせがきなどは、書いてある内容をキーワードとして付与。

メタデータ項目のガイドライン (時間、位置項目)

要素	ガイドライン
時間	震災前・後、1年後などは使用しない。主題の日時は撮影日などコンテンツそのものの時間情報付与
場所 (位置)	位置を示すメタ情報がなく、場所が明瞭なものは付与
対象 (被写体)	画像に移っているものは付与
対象 (文字)	画像から文字として読み取れる者は付与
被害等	対象の被害等のネガティブな情報
復旧・復興等	対象の復旧・復興に関するポジティブな情報
災害原因	原因が地震/津波と明確な場合のみ付与
災害状況	全壊/半壊、壊滅などは使用しない
撮影意図	復旧・復興については、明確な場合に付与
既知情報	撮影者から聞いた内容、既に知識として明らかなものは付与

メタデータは100項目以上あるが、一部を使用中

NDA のシソーラス辞書を導入し、ヒット件数をあげる。

## ② わすれん (せんだいメディアテーク)

背景

震災直後からの立ち上げの為、アーカイブの準備 (権利処理書類など) との同時進行で調整しながら今に至る。

### 1. ウェブ

館内外から閲覧可能 (資料の一部公開)

情報発信・検索 (2011～)

## 2. データベース

館内のみ閲覧 (全体)

素材、完パケ権利登録 (SMT 全体と一緒に)

ウェブサイト | 発信する

資料化を重要視：記録をウェブサイト等に公開する際に、資料化すること(編集)

### A) 二次的記録

記録者によるエピソード等を付与する。

- ・写真募集時のヒアリング、公開サロンのテキストおこし
- ・展示のポストイット (はじまりのごはん)
- ・上映イベントの感想など

例) 写真の公開サロンより

二次的記録の必要性、裏にあるお話を付与、見た目だけではわからない。ヒアリングなどの内容から

メタデータ (基本) として、場所緯度経度、

キャプションをいれる (写真を撮った人のモチベーションや、感想、エピソードも付与、補足も含め)。写真や状況がより伝わりやすい様に。

### B) マルチメディア

異なる媒体の記録と記録と一緒に編集する

例) 映像をテキストおこしして、検索にヒットするようにした。

(映像を見る人が少ないので。。)

写真とテキストを時系列で整理し、映像との連携をはかる。

会話、掲示板内容もテキストおこし。

音源も公開、テキストおこし (肖像権に引っかからないもの使う)

まとめ

それぞれの記録に対応した、表現、付与を考えている状態。

#### 【1つの記録】

- ・撮影者からヒアリングし補足 (エピソード)
- ・スタッフが記録をみて補足

・ キーワードは慎重に検討中

【写真】参加者や提供者が撮影+メタデータ、テキストおこし、スタッフ編集

【映像・音声】

テキストおこしから内容を補足→映像内での該当部分の時間数を表示

映像から他媒体に変換

他の記録者の記録とリンクする

余談：3～6人のチームで取り組む

Youtubeに移行中（Ustreamのアーカイブ機能が終わったので）

柴山先生コメント：

NDLのメタデータに載せる。

空間情報（地理）、時間、誰が作ったか、が重要になってくる（今後の為）

災害名称と日付は必須（2度目の大震災が起きた時、名前がかぶらない様）

課題：検索者の目的に近いものへ導く方法。キャプションで表現しながら。教訓とか。。（主観）をタグづけすることは難しいので。。

## Q&A

\*あきらかなデジカメ日付機能の間違いへの対応は？

その日付は載せない（みちのくS）。

ヒアリングで確認し、正確な日付が分かれば載せる（わすれん）。

\*曖昧な場所の表現は？私道など。。

載せてない。看板があれば。→GPSのみの起用

〇〇市どまり（みちS）

\*わすれんさんの二次的情報はソーシャルタグか？

はい。

主観であり、その価値を載せる。基礎タグも重要。

\*量か質か。。。？！

現在試行錯誤運営中。正しいガイドラインはないので、それぞれの団体での方向性に従事。統一する必要も無いのでは。誰にみせるか？専門家？など

次回は11月14日 題目は後日周知

1月11日のシンポジウムブース出展希望の方は柴山先生にご連絡ください。